

私らしく あなたらしく 一人ひとりが輝く社会へ

はあもにい1

【熊本市男女共同参画情報誌】



特集

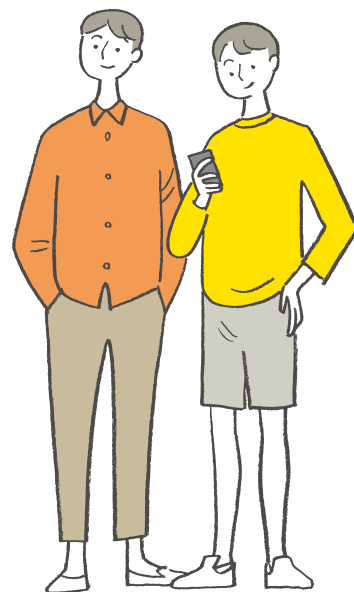
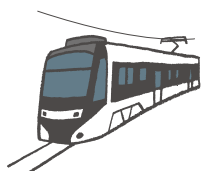
熊

本

ってホントに

暮らしやすい？

いろんな立場の人の視点で考える地域の課題



○報告

・令和7年度熊本市男女共同参画週間記念講演会

「はて？」の先の未来へ ～「虎に翼」脚本家・吉田恵里香の『作品』に込めた思い～

○講座・イベントレポート

・男女共同参画週間 若者が表現する「こんな未来だったらいいな」作品コンテスト&展示

・作家アルテシニアさん講演会「ジェンダーを知ると生きやすくなるよ」

・ユニバーサルマナー検定3級資格取得講座

・市民グループ企画「令和版 The・井戸端会議」

「女性のための健康講座～学んでみよう、DV、そして親子のこと～」

熊本ってホントに暮らしやすい？

いろんな立場の人の視点で考える地域の課題

自分たちが住む地域の「暮らしやすさ」って何でしょう？ 地域で、家庭で、職場で私たちが自分らしく生きるには、どんな環境が必要なのでしょう。

今回の特集では、移住・Uターン経験者へのアンケートを基に見えてきた「熊本の現状」と、熊本が暮らしやすくなるために挑戦を続ける女性たちに活動のきっかけや原動力についてお話を聞きました。

県外からの移住者にアンケートを実施！

男性10人、女性15人が回答

暮らしにくいと思う

- ・車がなければ生活できない
- ・最低賃金が低い
- ・女性が男性を立てるべきという雰囲気を感じて苦手



暮らしやすいと思う

- ・すぐに温泉や山、海などに行ける
- ・水や野菜、魚が新鮮でおいしい
- ・街がコンパクトでなんでもそろ
- ・子連れに優しい、人が温かい



こんな声も／

デジタル化が進むとうれしい！

熊本は自然が豊かで、都会の緊張感がなく住みやすいです。しかし、デジタル化が遅れている面があり、情報の取得や行政手続きなどで不便を感じることもあります。



きゅうけいふん
邱 桂芬さん(50代・女性/台湾から移住して12年)

男性を立てる文化に戸惑い

夫の転勤で熊本に移住しましたが、「男の人を立てる」文化には戸惑うことが多かったです。例えば、夫婦で一緒に接客を受けている際、私が質問しているのに、店員さんが夫にだけ答える、といったことを経験。また、家事や育児に非協力的な男性に対する女性の「いつまでも子どもだからしかたない」と受け入れていることにも驚かされました。



Aさん(40代・女性/広島から移住して5年)

どちらとも
いえない

27%
68%

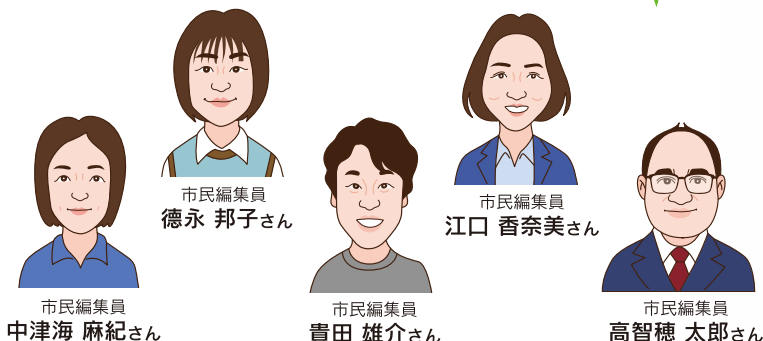
もっといろんな人が
地域や自治会に参画
しやすくなるといいですね

意見やアイデアを
言う勇気を持つことが大事

暮らしやすい
熊本のヒント

アンケートを基に
市民編集員が考えた

- ジェンダー問題については40年くらい前から変わっていないですね。
- 次の世代に「男性は外で仕事、女性は家庭を守る」などの古い風習を伝えていかないという意識を持てたいです。
- 夫婦、家族で話し合うことも大事だと思います。
- 若い人たちがもっと政治を学ぶ機会が増えるといいですね。



みんなが暮らしやすい熊本へのアクション

地域で一步を踏み出した女性たち

安心して暮らせる地域をつくりたい。そんな願いを胸に、熊本では防災や交流イベント、居場所づくりなど、地域の課題に向き合い行動を始めた女性たちがいます。今回は、市民編集員がその思いや活動取材し、暮らしやすい地域づくりのヒントを探りました。

古川久仁子さん



人と人がつながり、災害から命を守れる場をつくりたい

こども地域食堂「まんまる」代表／中島校区消防団女性班班長

1969年生まれ。熊本市中島校区出身。熊本地震をきっかけにこども地域食堂「まんまる」を立ち上げる。その後、地域防災により深く関わるため2022年4月に消防団に入団。女性班の班長として防災講座や見守り活動などに取り組み、日々の暮らしの中で“防災”と“つながり”の大切さを伝え続けている。

顔が見える関係づくりの
大切さ気付く



——こども地域食堂を始めたきっかけは？

熊本地震のとき、同じアパートの1階に住む高齢のご夫婦が「他人に迷惑をかけたくない」「もし潰れて死んでも、それは自分たちの選択」という理由で、避難所に行かずに残っておられました。「命の選択」を迫られる現実には大きな衝撃を受け、「顔の見える関係」が必要だと強く感じたのです。

「人が自然と集まる場をつくらう」と地震から間もなく、こども地域食堂「まんまる」を立ち上げました。子どもから高齢者が集う「みんなの居場所」になっていきます。

地域とともに学び
防災力を高め合う

——消防団員としても活動しているのですね。

私も女性消防団員として何ができることがあるのではと

思い入団しました。男女関係なく地域を守る力をみんなが高めていけたらと、定期的に勉強会を開いています。

能登半島地震のテレビ報道で、来日中の外国の方が避難所での情報収集に苦労したところや、津波が来てもどこに逃げていいかわからなかったことなどを知りました。その出来事から、日頃から顔を合わせて交流しておくことの大切さを感じ、中島校区に住む外国人と地域の方との交流会を開催しました。外国人技能実習生の受け入れ先に声を掛け、回覧板でもお知らせしたところ、当日は11人の技能実習生とその雇用主、さらに地域住民を合わせて約80人の方が参加してくれました。予想以上の大きな反響に、地域



の人たちが自然と助け合い、つながりあえる優しさを感じました。

横に広く、
強いつながりをつくる

——今後の目標は？

人と関わり、助け合いながら横のつながりを広げ、地域に深く根ざした活動をしていきたいです。顔を合わせ、声を掛け合える関係は、日々の暮らしだけでなく、いざという時の防災力にもつながります。これからも中島校区が、誰もが暮らしやすい温かい場所であり続けるよう、私にできることを重ねていきたいです。

取材・市民編集員 中津海麻紀さん

古川さんからのメッセージ

「やりたい」という思いを勇気を持って話してみてください。きっとそばに共感してくれる人がいるはずです。

人から言われて始めたことは長続きしにくいものですが、自分の意志で始めたことなら続けられます。そして継続していくためには、活動を次につなげてくれる仲間をつくることも大切です。

地域に愛される“交流イベント”を 16年間けん引

「四ッ角マーケット」実行委員会 代表

1983年生まれ。熊本市東区・鳥井原公園で年6回開催される地域交流イベント「四ッ角マーケット」を16年間支え、現在は実行委員会代表を務める。キッチンカーや水鉄砲イベントなど、世代や性別を問わず楽しめる企画を通じ、暮らしの延長線上で地域づくりに関わり続けている。



坂哉沙羅さん

「その人らしさ」を生かして楽しむ

「四ッ角マーケット」は、地域にある設計事務所の「まち全体を上質な風景にした」という思いから始まったイベントです。当時の自治会長だった私の父も関わり、地域に根づく活動としてスタートしました。私は途中から実行委員として参加し、今では16年と一番長く関わっていることから代表を務めています。親子が楽しめるイベントやマルシェを通して、みんなの交流の場として定着しています。

実行委員はさまざまな年齢層の男女10人。それぞれが得意なことを担っており、最近では、高校生や大学生がイベントのチラシのデザインなどに関わってくれています。こうした若い世代の声や力を受け入れ、巻き込んでいくことで、地域の良い循環が生まれていくのだと思います。また、女性が出産や育児、日々の家事などで自分の時間を取りにくい現状もあると思います。だからこそ、子育ては地域全体で支え合うべきだと感じますし、女性が地域に関わるのは自然なことだと思っています。

これからの地域で何かを始めた다고考えている方には、「大げさに考えず、まずは仲間をつくってみて」と伝えたいです。私も「地域の暮らしを少しでも豊かにしたい」という思いで、これからの自分なりの形で関わり続けていきたいです。



取材：市民編集員 高智穂太郎さん

女性の力が鍵を握る

データで見る
熊本の現状と未来

熊本県内の議会議員や管理職を担う女性の割合はいずれも全国平均を下回っています。政策決定の場に女性の意見が十分に反映される場が少ないというのが大きな問題です。一方で企業における女性管理職は、係長級以上の割合が23.4%と全国平均の15.8%を大きく上回っています。今後は自治会役員など、地域においても女性の力を積極的に生かしていく必要があります。

熊本県が令和4年度に行った調査では、県外に転出した女性の多くが熊本に愛着を持っており、熊本に戻ることに関心があるものの、地元で「男は仕事、女は家庭」といった意識が根強く残っていると感じている人も多く、それが熊本のネガティブなイメージにつながっていました。県民の8割以上が「政策企画立案や方針決定の場に女性の参画を望んでいる」という調査結果もある。

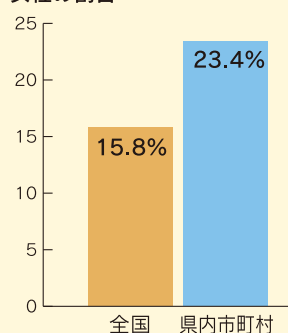


話を聞いた人

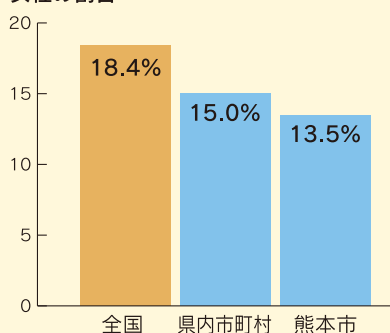
熊本県立大学総合管理学部
公共専攻
大学院アドミニストレーション研究科
研究科長・教授
澤田 道夫さん

り、女性の力を存分に生かしていくことが、これからの熊本の発展の鍵を握るといっていいでしょう。

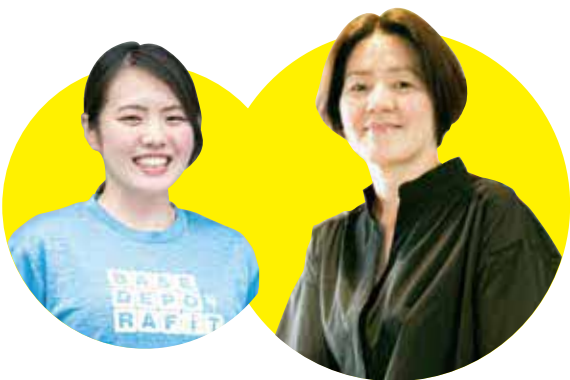
企業における管理職に占める女性の割合



市町村の管理職に占める女性の割合



※内閣府地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況調査（R6年度）
※熊本県労働雇用創生課「R6年度熊本県労働条件等実態調査」



「ワクワクする気持ち」を原動力に 母と娘で紡ぐ「第3の居場所」

トランポリンスタジオRAFiT・ユースセンタートリノスミカ運営

坂口京子さん/1969年生まれ。2005年に親子向けの子育てサークルを立ち上げ10年に、熊本市内にトランポリンスタジオ「RAFiT」をオープン。21年に移転し、複合施設としてオープン。

史乃さん/1997年生まれ。18歳でトランポリン指導員の資格を取得。母・京子さんと立ち上げた「3rd place Bird」の事業の一環として、24年から中高生が自由に集えるユースセンター「トリノスミカ」を運営している。

自身の悩みが 活動のきっかけに

京子さん 私は、第2子の不妊に悩んでいた頃にトランポリンに出会いました。最初はうまく跳べなかったのが「できるようになる」喜びを感じました。運動を始めてすぐに第2子を妊娠。そして産後2カ月の頃、「自分の体を大切にしながら子育てを楽しもう」というコンセプトでトランポリンサークルを立ち上げました。当時は女性が体や健康について語ることが少ない時代でした。しかし、自分の経験から「お母さんが健康であること」の大切さを実感したため、産後の心身のケアなどもサークル活動に取り入れました。現在はトランポリン教室の運営に加え、人がふつと立ち寄れる「第3の居場所」づくりにも取り組んでいます。その中に、中高生対象のユースセンターも立ち上げました。

史乃さん ユースセンターを立ち上げたきっかけは、私自身、高校生の頃に不登校を経験したことがあるからです。その時、家と学校以外に、大人と話せる機会



があったことで、視野が広がりとでも支えになりました。中高生が自由に過ごせる「第3の居場所」をつくりたいという思いをずっと胸に抱いていて、昨年ようやく実現できました。活動日は数人〜10人くらい集まり、性別や年齢に関係なく、ボードゲームや調理体験をしながら、お互いを理解し合っ

小さくても 心躍ることに挑戦して

京子さん 何か始めるときに大切なのは「とりあえずやってみること」「仲間を作ること」「継続すること」の3つです。例えば小さなことでもワクワクすることに挑戦することが大事です。今後は50代女性の異業種交流の場や、産前産後の悩みなどを共有できる新たなコミュニティをつくってきたいです。

史乃さん 私はいつも迷ったときに「自分がワクワクするのは？」と自分の気持ちと向き合います。今はユースセンターを続けながら、子どもたちの気持ちや課題に寄り添い、長期的にサポートを続けていければと思います。

取材・市民編集員 徳永邦子さん



information

一步を踏み出した修了生も多数！ はあもにいウィメンズカレッジ

政策をはじめ、地域や職場での方針決定の場に参画し、自らの考えを発信できる女性人材の発掘・育成を目的とする「はあもにいウィメンズカレッジ」。今年度で12回目となり、さまざまな職種・年代の女性たちが受講しています。

本講座では各分野で活躍する講師陣を迎え、熊本市における男女共同参画の現状や課題、地域防災、女性の政治参画などについて分かりやすく学べます。これまでの修了生はそれぞれの地域や職場で学んだことを生かして、新たなつながりや取り組みを生み出しています。

次年度も13期ウィメンズカレッジを開催予定。自らの成長の場として、ぜひチェックしてみてください。



問い合わせ:熊本市男女共同参画センターはあもにい☎096(345)2550

ご意見募集 今回の特集「熊本ってホントに暮らしやすい? いろんな立場の人の視点で考える地域の課題」について、あなたのご意見・感想をお聞かせください。宛先は巻末へ。

男女共同参画週間記念講演会

「はて？」の先の未来へ ～脚本家・吉田恵里香の 『作品』に込めた思い～

6月23日から29日は、男女共同参画社会基本法の理念を広く知ってもらうための「男女共同参画週間」です。熊本市は、この週間にあわせて毎年、熊本県弁護士会と共催で記念事業を開催。今年は6月29日(日)に脚本家の吉田恵里香さんの講演会を行いました。NHK連続テレビ小説『虎に翼』の脚本を手がける吉田さんは、作品に込めた「問い続ける姿勢」や「多様性を描く意義」について語りました。



講師 吉田 恵里香さん

脚本家・小説家。1987年生まれ、神奈川県出身。脚本作に『虎に翼』『ヒロイン失格』『30歳まで童貞だと魔法使いになれるらしい』など。『恋せぬふたり』で向田邦子賞・文化庁芸術祭優秀賞を受賞。小説に『にじゅうよんのひとみ』がある。



『虎に翼』に込めた 問いかけの力

「『はて？』と思う感覚が、作品づくりの原点なんです」。脚本家の吉田恵里香さんは、何気ない日常の中でふと湧いてくる違和感や疑問こそが、物語の出発点になると語りました。

NHK連続テレビ小説『虎に翼』は、日本初の女性弁護士の一入である三淵嘉子さんをモデルに、女性たちが法の世界で奮闘しながら生き抜いていく姿を描いています。吉田さんは作品を通して「こうあるべき」という社会の型に、人はどこまで合わせなければならぬのか「誰もがその人らしくいられる社会とは？」という問いを投げかけます。過去の女性たちの努力が積み重なり、現代につながっていることを伝えているのです。

吉田さんが特に大切にしているのは、登場人物に「選ぶ自由」を与えることです。恋愛をしない人、性別に違和感を持つ人、伝統にとらわれない家族の形など、これまで見過ごされてきた人々の存在を丁寧に描くことで、「誰もが『いなか』だったことにされないように」という強い思いを込めています。登場人物の背景や心の動きを描写することで、視聴者が自分の物語を生きる「感覚を持つてほしい」と語りました。

制作現場から生まれる 多様な視点

講演では、制作現場での対話の大切さについても語られました。「キャラクターがこう言うだろう」と決めつけず、常に対話の余地を残すことで、脚本に深みが生まれる」と、自分の視点を問い直す姿勢が作品づくりには欠かせないと強調します。

「人権は与えられるもの」ではなく、誰もが等しく持つもの。声を上げることはわがままではない」と力強く語る吉田さんの言葉に、会場の参加者たちは深くうなずいていました。

小さな『はて？』が 未来をつくる一歩に

講演の最後に吉田さんは、「社

会はずいぶんには変わらないけれど、小さな『はて？』を見過ごさずに問い続けることが、未来をつくる力になる」とメッセージを送りました。その言葉には、時代を超えて問い続けることの大切さと、私たち自身が変化の一部になれるという希望が込められていました。

会場は大きな拍手に包まれました。会場を後にする参加者の表情からは、未来への希望を胸に、それぞれの「はて？」を持ち帰った様子がうかがえました。

★編集員も参加しました！

ドラマ『虎に翼』で現実への異議申し立てとして口にした「はて？」。言わないよりましとはいえない言っただけでは変化を起こせないとも感じます。しかし吉田さんは、自問しつづ相手を球を投げる対話の契機であると話されました。そして始まるやり取りから何が生まれ、それは小さくともきつと全体は変わっていくでしょう。そんな夢を共有した講演でした。

市民編集員 江口香奈美さん

吉田恵里香さんは社会を変えるきっかけとなるようなエンタメを作りたいと語っておられました。抗議の声を上げたてくてもいきなりは難しい。けれど疑問の声なら上げられるかもしれない。また一つ勇気づけられました。

市民編集員 貴田雄介さん

それ、デートDVかも!?

デートDVとは、交際相手との間におこる暴力のことです。デートDVは大人だけの問題ではなく、中学生や高校生の間でも起こっている問題です。被害者になる可能性があるのは、女性だけではなく、男性も同性のパートナー間でも起こり得る問題です。

熊本市では、デートDVを防止するために、啓発動画を作成しました。デートDVを防ぐためには、「どんな行為がDVにあたるのか」といった正しい知識を持つことが大切です。ぜひご覧ください。

また、熊本市ではデートDVに関する基礎的な知識を学ぶことができる出前講座も実施しています。併せてご利用ください。



デートDV一例

●身体的暴力

- ・殴る
- ・蹴る
- ・髪を引っばる

●デジタル暴力

- ・LINE即返事を強要する
- ・監視のためにGPSを入れる

●精神的暴力

- ・バカにする
- ・無視する
- ・「別れるなら死ぬ」という

●性的暴力

- ・同意のない性行為
- ・見たくないAVを見せられる
- ・裸の写真を撮る・撮らせる

●経済的暴力

- ・無理におごらせる
- ・高価なプレゼントを強要する

●社会的隔離

- ・友達と会うのを制限される
- ・自分以外と話させない
- ・連絡先の削除を強要する



デートDV動画サムネイル



デートDV



出前講座

information

男女共同参画課相談室のご案内

熊本市では、下記の相談窓口を開設しています。**相談は無料**、どなたでもご利用いただけます。各相談では、専門の相談員がお話を伺い、秘密は固く守られます。ひとりで悩まずに、お気軽にご相談ください。

	内 容	相 談 日 時	電 話 番 号
DV相談	配偶者等からの暴力に関する相談を相談員がお受けします	電話相談 月～金曜 8:30～17:15	096-328-3322
		メール相談 いつでも可能 ※ただし、回答に1週間程度かかります	dv_soudan@city.kumamoto.kumamoto.jp
専門相談	DVに関する相談に弁護士がアドバイスします	面談相談 毎月第2、3木曜 13:00～16:00	面談には予約が必要です 予約専用電話 096-352-2587 (月～金曜 9:00～16:00)
	男女共同参画に関する法律相談	面談相談 毎月第4木曜 13:00～16:00	

※ご相談は、各区福祉課でもお受けすることができます。現在、はあもにいに相談室はございません。



男女共同参画週間

若者が表現する「こんな未来だったらいいな」作品コンテスト&展示



はあもにい賞
ペンネーム:かのかんさん



TOMMY-ZAWA賞
ペンネーム: TanuAyaさん

内閣府が定めた男女共同参画週間(6月23日～29日)に合わせて、「こんな未来だったらいいな」をテーマにした作品を若い世代から募集しました。10歳から大学生まで46点の応募があり、子どもや学生たちが思い描く「ジェンダー平等未来のカタチ」が集まりました。動画、イラスト、絵画など、自由な手法で表現してくれました。

応募してくれた若者たちは、作品づくりを通してジェンダー平等という漠然とした課題に真剣に向き合い、自分の人生に関わる身近な問題として捉え直してくれたようです。

選考には、詩人の伊藤比呂美さん、イラストレーターのTOMMY-ZAWAさんをお迎えしました。当館の館長も加わり、一つ一つの作品を丁寧に見て意見を交わし、審査員賞3点と入選10点を選びました。

応募いただいた全作品は、6月20日～7月5日まで当館ギャラリーで展示しました。多くの人々が足を止め、作品をじっくりと観賞していました。

入選作品はHPに掲載しています



伊藤比呂美賞(動画) ペンネーム: SAKIさん

SAKIさんの作品はこちらから視聴できます



作家アルテイシアさん講演会「ジェンダーを知ると生きやすくなるよ」



「自分ができすることで、良い社会にしていきましょう」と力強く語りました

7月12日(土)、作家のアルテイシアさんを講師に迎え、「ジェンダーを知ると生きやすくなるよ」と題した講演会を開催しました。62人が参加し、ジェンダーやフェミニズムなどの身近なテーマについて一緒に考えました。

講演では、「男らしさ」や「女らしさ」といった固定観念にとらわれず、自分らしく生きることの大切さが語られました。両親がジェンダーの「呪い」によって亡くなったと感じた経験を例に挙げ、個人的な苦しみが生社会の仕組みから生まれることがあると説明。ジェンダーについて正しく知ること、「自分を責める気持ちから解放される」と訴えました。また、無意識の偏見である「ア

ンコンシャス・バイアス」が社会全体の安全に関わる問題だと指摘。一部の人だけが差別されないのではなく、誰もが生きやすい社会を目指すことが重要だと伝えました。

難しく感じられがちなフェミニズムやジェンダーの問題を、ユーモアを交え力強く話すアルテイシアさんの言葉に、参加者は引き込まれていました。参加者からは「政治や生活、女性の権利について深く知ることができた」「誰もが生きやすい社会のために、自分にできることから始めてみたい」といった声が寄せられ、多くの人々が新たな気づきと行動のきっかけを得たようです。



はあもにい 講座・イベント

HARMONY

Report

はあもにいでは、男女共同参画社会の実現に向けた講座や講演会、イベントを開催しています。令和7年春から夏に行われた主なものを紹介します。

ユニバーサルマナー検定3級資格取得講座

高齢者、障害のある方など、さまざまな立場の視点で考え、行動するための心構えや声掛け方法などを学ぶ「ユニバーサルマナー検定3級資格取得講座」を、8月3日(日)に開催しました。13歳から65歳までの幅広い世代が参加しました。

講師の田中利樹さん(株式会社ミライロ)は、自身の経験を交えながら、配慮が伝わる声の掛け方や適切な対応の方法について具体的に紹介。すぐに実践できるユニバーサルマナーの基本を、座学とグループワークを通して学びまし

た。田中さんは「いざ誰かを助けようと思っても『なんと声を掛ければいいのか』と迷う人は少なくありません。『無関心』にも『過剰』にもならないよう、相手の困り事や気持ちに寄り添う姿勢が大切です」と話します。

受講生からは、「マークの意味を理解し、いつでも声を掛けられる準備をしておきたい」「大丈夫ですか?ではなく、選択肢を提示することを心掛けたい」「迷わずにサッとその人に合った行動をとりたいたい」など、今後の行動や意識につながる感想が寄せられました。

自身の経験も合わせて、分かりやすく話す講師



夏休み中という事もあり、10代の参加者も多く見られました



市民グループ企画

熊本市内を中心に活動している団体と、はあもにいで共同開催した2講座

令和版 The・井戸端会議

健康や美容、起業支援などのイベントを通して気軽に語り合い、参加者同士がサポートし合い、夢の実現や女性が活躍できる環境を広げている「Free Lady Talk(フリーレディトーク)」。

その活動の一環として、7月に全2回の講座「令和版 The・井戸端会議」を開催しました。
7月13日(日)は「子育て」をテーマに、前半は音楽に合わせて体を動かすリトミックでリラックスし、後半は子どもが伸びる言葉掛けを学びました。7月27日(日)は「美容・健康」をテーマに、前半は似合う色を見つけるパーソナルカラー診断、後半は薬膳の話や体験コーナーが行われ、話が弾みました。どちらの回も参加者の笑顔があふれ、子育てや家事、仕事で忙しい女性が「自分のために時間を使うことの大切さ」を実感できる時間となりました。



女性のための健康講座 ～学んでみよう、DV、そして親子のこと～

「ウィメンズ・カウンセリングルーム熊本」は、女性のメンタルヘルスを支え、エンパワメントを通じて旧来の性別役割分業にとらわれない生き方を目指すNPO法人です。

6月15日(日)～9月14日(日)まで全7回の講座を開催。各回テーマを変え、「DVとは」「共依存について」など幅広く情報を提供しました。特に「性差医療と女性のからだ」の回では、春日クリニック院長の清田眞由美氏から貴重な話を聞けました。学びを重ね、夫やパートナーとの関係で押し付けられてきた「男女の役割による生きづらさ」を手放し語り合う中で、「ひとりではない」という勇気を得ることができたようです。

01



恋せぬふたり

吉田恵里香／著
NHK出版／発行

一歩踏み出し自分の幸せについて考える 勇気を与える、"ラブでない"コメディ

ドラマ「恋せぬふたり」の小説版。脚本を手がけた吉田恵里香さんが書き下ろした本作。

咲子は恋愛や結婚がよく分からず、家族や同僚から世間一般の幸せを押し付けられ居心地の悪さを感じていました。ある日、「アロマンティック・アセクシュアル」を自認する高橋と出会い、彼の考えに強く揺さぶられる。誰にも恋愛感情を抱かず、性的にも惹かれない、そんな2人が共同生活を始めることになり…。

自分は何が好きで、きらいで、どういう人生を送りたいのか。自分らしく生きたい全ての人の背中をそっと押ししてくれる"ラブでない"コメディです。

※紹介した本は、はあもにい1階情報資料室で貸し出しできます。

はあもにい
情報資料室

お
す
す
め
図
書

02



田嶋先生に人生救われた私がフェミニズムを語っていいですか!?

田嶋陽子／著
アルテシア／著
KADOKAWA／発行

フェミニズムの新旧旗手による バトンリレーの実況中継

男も女も今よりもう少し生きやすくなるよう、人生を自分仕様にカスタマイズするための指南書です。1990年代からマスコミで活躍してきた田嶋陽子さんと、2000年代にブログから作家デビューしたアルテシアさんによる対談で、家族、友人、家庭、結婚、子育て、介護といった生活のさまざまな局面に分け入っていきます。

マッチングアプリの利用法といったハウツーから、テレビの裏話まで盛り込まれており、娯楽として楽しめる内容です。また、各章には丁寧な注釈が添えられており、まるで教養講座1クール分に相当する情報量を確保しています。

さらに、アルテシアさんが憧れの田嶋さんからバトンを受け取る、愛の物語でもあります。



熊本市男女共同参画センター

はあもにい
HARMONY

お知らせ

毎月開催

原則毎月第1火曜
11:00～11:30



親子で楽しむ
よんでよんでのかい

季節のテーマを盛り込んだ絵本や紙芝居、ふれあい遊びなどを親子で楽しみませんか。パパやおじいちゃん、おばあちゃんの参加也大歓迎。不定期でオンライン開催もあり。

対象:小さいお子さんがいる家庭 参加:無料 予約:不要

原則毎月第3水曜
10:00～15:00



働くことを考える
働き方相談所

ハローワーク職員が月に一度はあもにいに出張し、就業相談を行います。再就職を考えている方、転職を考えている方、就業に不安を抱えている方など、お気軽にご相談ください。

対象:どなたでも(就職や転職を考えている方) 参加:無料

予約:8日前まで要予約(一人あたり1時間)

託児:あり(1歳～未就学児まで、無料、10日前まで要予約)

はあもにいの最新講座情報は…

はあもにいホームページ、Facebook、Instagram、はあもにい通信(毎月25日発行)、市政だよりをチェック!



◀はあもにい
ホームページ



◀Facebook



◀Instagram



はあもにい施設ご利用案内

◆開館時間 ホール・研修室等9:00～21:30 施設予約受付・情報資料室9:00～19:00

◆休館日 第2・第4月曜(ただし祝日の時は翌平日)、12月29日～翌年1月3日

※表記した使用料金は基本料金です。入場料を徴収するなど
商業活動を目的とした使用の場合は、加算対象になります。

ホール



◎メインホール

(372席※うち車いす席8台分)
コーラスやピアノ、ダンスなどの発表、演劇公演、映画上映などさまざまな催し物に対応します。客席との距離が近い小規模ホールなので、参加型のイベントにもおすすです。



◎多目的ホール

(収容人数200人)
昇降機能を備える円形の舞台や可動式の客席で、空間を自在にレイアウトできます。小劇場の公演やライブ、展示会、ファッションショーにも最適です。

料金	時間区分	午前 (9:00～12:00)	午後 (13:00～17:00)	夜間 (18:00～21:30)
	平日	7,500円	11,300円	15,000円
	土・日・祝日	9,000円	13,500円	18,000円

★冷暖房・付属設備の使用は別料金です

料金	時間区分	午前 (9:00～12:00)	午後 (13:00～17:00)	夜間 (18:00～21:30)
	平日	4,000円	6,000円	8,000円
	土・日・祝日	4,800円	7,200円	9,600円

★冷暖房・付属設備の使用は別料金です

機能が充実した専用施設



◎食のアトリエ

(収容人数36人)
料理講習会や実演、食事会などにご利用いただけます。その他、飲食ありのセミナー、学習会の会場としても。

◎リハーサルA室

(収容人数10人)
バンド練習のための防音室。ドラムやベースアンプを常設しています。



◎リハーサルB室

(収容人数40人)
グランドピアノがある部屋。コーラスの練習に最適です。



◎リハーサルC室

(収容人数20人)
ダンスや演劇レッスンができる床板の部屋。ロッカー・シャワー室完備。



料金	時間区分	午前 (9:00～12:00)	午後 (13:00～17:00)	夜間 (18:00～21:30)
	食のアトリエ	2,300円	3,100円	3,700円
	時間区分	昼食の部 (9:00～14:30)	夕食の部 (15:30～21:30)	
	食のアトリエ	3,800円	5,300円	

料金	時間区分	午前 (9:00～12:00)	午後 (13:00～17:00)	夜間 (18:00～21:30)
	リハーサルA室	950円	1,300円	1,500円
	リハーサルB室	2,000円	2,700円	3,200円
	リハーサルC室	2,200円	2,900円	3,500円

会議・セミナー・研修に

会議室と研修室A・Bのみ無線LAN完備

◎会議室 (収容人数50人)



円卓のテーブル(備え付け)、マイク付きの司会台を備えた本格的な会議室です。円卓着席数26、補助席数24。

◎研修室A・B・C室 (収容人数各36人)



セミナーや会議などに利用できる研修室。各室36人定員。A室とB室は間仕切りを外せば72人まで収容できます。

料 金	時間区分	午 前 (9:00～12:00)	午 後 (13:00～17:00)
	会議室	3,700円	4,900円
	研修室	2,000円	2,700円
	時間区分	夜 間 (18:00～21:30)	
	会議室	5,800円	
	研修室	3,200円	

発見・体験・つながる一日
可能性は無限大

はあもにいFESTA 2025

入場無料 ※一部有料の催しあり

11.8^土 10:00~16:00
11.9^日 10:00~15:30

男女共同参画を推進する市民グループとはあもにいが協働で企画・運営します。トークショー、バザー、クイズなど楽しい催しがたくさん(一部有料)！ぜひお越しください

11/8^土 トークショー

「宇宙思考とジェンダー」

— 安心で予測可能な道から外れたとき、
宇宙にある新しい可能性が未来になる —

講師 天文物理学者 **BossB氏**
(天文物理学博士、信州大学准教授)

天文物理学者、10年間子育てに専念。インフルエンサーとして65万人のフォロワーを持つBossB氏が、宇宙思考から「常識やジェンダーの壁」を突き破り、あなたの可能性を無限大に広げる。



講師プロフィール

コロンビア大学博士課程修了後、カリフォルニア大学サンタバーバラ校、ドイツのマックス・プランク天文学研究所などで研究活動、10年間の子育てを経て、アカデミアにカムバック。永遠の探検家、ハイブリッド、息子2人を宇宙よりも愛する母、愛、♡自由、宇宙思考で皆が輝ける社会を創るために発信を続けるインフルエンサー(SNS 総登録者65 万以上) & 社会の縁から攻めるプチ革命家。著書「宇宙思考」「宇宙と物理のしくみがわかる！ すぐすぎる宇宙・天文の図鑑」が話題。

YouTube @bossb5553

日時 11月8日(土) 13:30~15:00(開場13:00)

会場 はあもにいメインホール

定員 350人(先着順) 費用 無料

託児 あり(1歳~未就学児、要予約)

申込 10月5日(日)から電話、申し込みフォーム(HP内にもあり)から、要予約(申し込みフォーム・二次元コード) ※手話通訳あり(要予約)

申し込みはこちらから



11/9^日 記念講演会

「生きながら生まれ変わる」

講師 **米良 美一氏**
(声楽家・歌手)

病氣との闘い、歌手としての成功、成功の陰での挫折、さまざまな経験から「ありのままの自分」の大切さに目覚めた米良美一さん。波乱万丈な再生の物語を通して、自分らしく生きていくことを見つめ直す、そんな時間を一緒に。



講師プロフィール

洗足学園音楽大学を首席で卒業。オランダ政府給費留学生としてアムステルダム音楽院に留学し、バツハ・コレギウム・ジャパンの定期公演で教会カンタータを歌ってデビューした。宮崎駿監督作品『もののけ姫』の主題歌を歌って一躍脚光を浴びる。以後、カウンター・テナー歌手として世界的活躍を続け、現在ではコンサートや講演会、テレビ・ラジオにも多数出演し、親しみやすい人柄と個性豊かな語り口は、世代を越えて人気を集めている。第12回日本ゴールドディスク大賞、第21回日本アカデミー賞協会特別賞受賞。 Instagram @la_melamela

日時 11月9日(日) 13:30~15:00(開場13:00)

会場 はあもにいメインホール

定員 350人(先着順) 費用 無料

託児 あり(1歳~未就学児、要予約)

申込 10月6日(月)から電話、申し込みフォーム(HP内にもあり)から、要予約(申し込みフォーム・二次元コード) ※手話通訳あり(要予約)

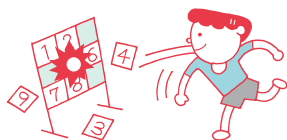
申し込みはこちらから



11/8^土・11/9^日
両日開催

子ども向け催事

一日中あそべる♪にここイベントスペース



体を動かして元気になれるゲームや「大きなぬりえ」、そして楽しい学びの場もあります！ 子どもも大人も一緒に、レッツエンジョイ！



フェスタクイズ

男女共同参画クイズに挑戦！ 参加者にはすてきな景品が当たります。



申し込み・問い合わせは 熊本市男女共同参画センターはあもにい(中央区黒髪3-3-10)

☎096-345-2550 (9:00~19:00、休館日:第2・4月曜 祝日の場合は翌平日) ホームページ<https://harmony-mimoza.org/>

編集・発行 〒860-8601 熊本市中央区手取本町1-1 熊本市文化市民局人権推進部男女共同参画課
〒860-0862 熊本市中央区黒髪3-3-10 熊本市男女共同参画センターはあもにい
市民編集員 江口 香奈美 貴田 雄介 高智穂 太郎 徳永 邦子 中津海 麻紀

▶ご意見・ご感想をお寄せください

◎熊本市男女共同参画センターはあもにい

✉info@harmony-mimoza.org ☎096-345-2550 9時~19時

熊本市男女共同参画センターはあもにいの詳しい情報はここから

はあもにい 熊本

検索

